

令和7年11月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年11月分について、輸出は「自動車の部分品」、「ポンプ及び遠心分離機」などが減少したものの、「原動機」、「半導体等電子部品」、「電気計測機器」などが増加したことから対前年同月比18.1%の増加となった。また、輸入は「医薬品」「プラスチック製品」などが減少したものの、「原動機」、「半導体等電子部品」、「電気計測機器」などが増加したことから、同1.7%の増加となった。

その結果、差引額は185億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,370億円	+18.1%	1,185億円	+1.7%	185億円	—
	4カ月連続の増加		30カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 原動機	84億円	+34.2%	輸入	増加品目	(1) 原動機	290億円	+16.0%	
		(2) 半導体等電子部品	150億円	+14.1%			(2) 半導体等電子部品	183億円	+14.9%	
		(3) 電気計測機器	81億円	+15.6%			(3) 電気計測機器	38億円	+44.4%	
	減少品目	(1) 自動車の部分品	24億円	▲50.7%		減少品目	(1) 医薬品	32億円	▲76.5%	
		(2) ポンプ及び遠心分離機	10億円	▲51.7%			(2) プラスチック製品	5億円	▲37.5%	
		(3) 半導体等製造装置	35億円	▲11.1%			(3) 金属製品	33億円	▲6.0%	
	主要地域 増減	アジア、アメリカ、EUが増加				主要地域 増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少			

（参考）ドルレートは、153.17円（前年同月比0.2%、0.34円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税關長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。